

このたよりを読んでいるあなたは何歳ですか？

今回は、子ども時代の遊びにフォーカスします。身近にいる様々な年代の方に、小学生の頃の遊びについて聞きました。

昭和(中頃)

まずは、60代の方に聞いてみました。
小学生の頃は昭和の中頃。その当時の遊びは…

- ・家の前でビー玉遊び
- ・瓦当て
- ・べったん(めんこ)
- ・3回当て
- ・釘差し(舗装していない道路に5寸釘を刺して陣取りをする遊び)
- ・馬飛び
- ・缶蹴り
- ・野球

昭和中頃の遊びは、聞いた私もわからない遊びがいくつかありました😊

昭和(後期)

私の子ども時代は、「昭和後期」～「平成初期」です。その頃の私の小学生の頃を思い出すと…

- ・近くの川(人工)をジャンプで渡れるかチャレンジ
- ・川(人工)で笹船レース
- ・近所の御寺の境内でかくれんぼ
- ・小学校のグラウンドでサッカーや野球
- ・近所の公園で缶蹴り
- ・駄菓子屋でおかしやジュース、カップ麺などを食べる
- ・町内鬼ごっこ(逃げる範囲は住んでいる町内)
- ・近所でガチャガチャ
- ・スーパーでシール入りチョコ菓子を買う(大量買いしている子にお菓子だけもらう)
- ・友達の家でTVゲーム
- ・店舗でアーケードゲーム
- ・つつじの蜜吸い

他にも、スケボーに縄をくくりつけて引っ張る遊びなどもありましたが、詳細の記載は控えます。

平成

続いて、「平成」に小学生時代をすごした30代の方に聞きました。

- ・公園や学校でドッジボール・サッカー・野球
- ・公園で鬼ごっこ
- ・ポコペン
- ・近所の海で釣り
- ・友達の家でTVゲーム・ポータブルゲーム
- ・習い事
- ・小型四輪プラモデルでレース
- ・山で秘密基地遊び
- ・つつじの蜜吸い

ちなみに、上記の3人は、全員男性です。女性に聞くと、また違う遊びの内容が出てくることでしょう。

さあ、令和の子どもたちは、放課後どんな遊びをしているのでしょうか？子どもさんに聞いてみてください。そして、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんの子どもの頃の遊びを話してあげてください。

遊びを通じて身につくこと

子どもは、遊びを通じ、体力、思考力、判断力、想像力、集中力など、様々な力を身につけます。
また、指先や手への刺激は、脳や神経の発達を促します。
さらに、集団での遊びは、社会性や協調性なども育みます。

環境省が中心となってとりまとめる環境白書の平成8年版に、このような記載がありました。

「昔と今の遊びを比較すると、遊び場については屋外から屋内へ、遊び道具は自然の素材、自ら作った道具から、人工素材・既製品へと移り変わり、遊び仲間については、異なる年齢と能力の集団から同じ年齢と能力の集団ないし個人での遊びへとといった変化が見られた。」

他にも、

「遊びの空間が減少していること背景には、子どもの遊びに配慮せず、いわば大人の都合で開発を続けてきたことが挙げられる。」

「昔は道路が貴重な遊び場であったとされるが、今は危険な場所となっている。」

「自然と直接ふれあう遊びが伝承されず、遊びに変化が生じている時期は、急速なテレビの普及の時期に当たっているとする指摘もある」

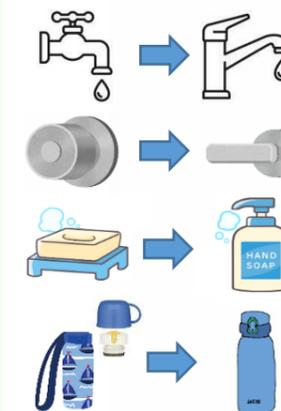
「加熱する受験競争や塾通いも遊び時間の短縮、遊び仲間の同年齢化、少数化の一つの要因と考えられる。」

えっ！今から29年前!?
まるで今言われているみたいでござる!!



遊びだけではありません。生活様式の変化も、子どもの発達などに影響を与えています。

例えば、「手首をひねる動作」に注目して見ると、少し前までは、「ドアノブ」「水栓のハンドル」「水筒の蓋や中栓」などは手首をひねる動作で開閉していました。「手や指先の感覚」に注目して見ると、「土いじりや砂遊び」「固形石鹸」「工作遊び」などは、手や指を細かく、力を加減しながら動かす体験になっていましたが、地域で、家庭で経験する機会が減っているのではないのでしょうか。これらの手や指、手首の動きは、脳の発達にも影響を与えます。就学前施設や学校では、これらの経験をたくさん積ませています。



家でも便利になった生活と失われた経験を、もう一度考えてみませんか。

